

撚糸工連ニュース

2015年1月発行 第46号

発行：日本撚糸工業組合連合会
〒113-0034
東京都文京区湯島1-3-4
TEL 03(5615)8974
FAX 03(5615)8975
<http://www.nenshi.or.jp/>
E-mail:info@nenshi.or.jp

◆年頭のごあいさつ

平成27年(2015年)1月
日本撚糸工業組合連合会
理事長 北場利美

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご壮健で新しい年を迎えられましたことに対しまして、心からお慶び申し上げます。

さて、顧みますと、昨年の我が国経済は、一部で先行き改善の兆しも見えたものの、消費増税に伴う駆け込みの反動からの持ち直しのテンポが鈍く、また、天候不順が続いたことなどから、個人消費が限定的となり、一進一退の動きとなりました。

こうした中、我々撚糸業者につきましては、皆様のご努力、また、関係先のご理解もあり、一部では受取加工賃がUPしたものの、総じて、原材料価格の上昇により採算を維持するのが厳しい状況となりました。今後、更なる電力料金の値上げ等、業界を取り巻く環境は厳しい状況が見込まれますが、このような状況を打破するためにも、業界内の結束力を強める必要があると考えております。

年頭にあたり、決意も新たに、業界の活性化のため全力を尽くしてまいりたいと存じますので、皆様方より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、関係各位のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

◆労災保険料算出に用いる労災保険率の改定等がおこなわれます。

～改正省令を平成27年4月1日に施行予定～

厚生労働大臣の諮問機関である労働政策審議会(会長 樋口 美雄 慶應義塾大学商学部教授)は、昨年12月10日に塩崎 恭久 厚生労働大臣が同審議会に諮問していた「労働保険の保険料

の徴収等に関する法律施行規則の一部を改正する省令案要綱」に対し、同 12 月 15 日、「妥当」とする答申をしました。

この省令案要綱は、事業主が支払う労災保険料算出に用いる労災保険率の改定などを主な内容としています。労災保険率は、厚生労働大臣が業種ごとに定めており、それぞれの業種の過去 3 年間の災害発生状況などを考慮し、原則 3 年ごとに改定しています。

厚生労働省は、答申を踏まえ、平成 27 年 4 月 1 日の施行を目指し、速やかに省令改正作業を進めます。

「**繊維工業又は繊維製品製造業**」

現 行 1,000 分の 4 ⇒ 改訂後 1,000 分の 4.5

詳細は厚労省HPをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000067690.html>

労災保険率（改正前後比較）

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11401000-Roudoukijunkyokuroudouhoshoubu-Rousaikanrika/0000068067.pdf>

◆日本の繊維産業の現況について

昨年 12 月 12 日に日本繊維産業連盟常任委員会が開催され、「日本の繊維産業の現況について」以下のとおり報告がありました。

1. 主要生産指標(主要繊維、テキスタイルの 14 年 1～9 月生産量)

(1) 化合繊維

14 年 1～9 月	745,313(t/期)
13 年同期比	100.6%
11 年 "	96.1%
08 年 "	89.3%

(2) 綿糸

14 年 1～9 月	27,676(t/期)
13 年同期比	98.9%
11 年 "	85.0%
08 年 "	56.6%

(3) 毛糸

14 年 1～9 月	7,418(t/期)
13 年同期比	94.2%
11 年 "	96.2%
08 年 "	83.0%

(4) 合繊維物

14 年 1～9 月	623,220(千㎡/期)
13 年同期比	102.8%
11 年 "	98.5%
08 年 "	80.2%

(5) 綿織物		(6) ニット生地	
14年1～9月	95,496(千m ² /期)	14年1～9月	41,877(t/期)
13年同期比	97.8%	13年同期比	94.5%
11年 "	97.8%	11年 "	88.9%
08年 "	38.7%	08年 "	67.8%
(7) 染色整理			
14年1～9月	1,367,853(千m ² /期)		
13年同期比	100.6%		
11年 "	92.7%		
08年 "	71.8%		

2. 主要貿易指標

リーマンショック後、09年は輸出入とも大幅に落ち込んだが、その後10～11年にかけて回復し、12年は停滞が続いたが、13年以降は再び回復傾向が続いている。13年の輸出は09年比21.6%増となったが、輸入は同期比+37.8%と大きく上回ったため、貿易収支は過去最高の▲3兆2,950億円となった。

3. 主要消費指標

(1) 家計調査消費支出は1月、3月が顕著。4月以降はプラスに転じているものの、他は前年を下回る月が多い。

衣料品の店頭売上指標も、消費税率引き上げ前の駆け込み需要で3月が著しい。4月以降は駆け込み需要の反動と天候不順(7、8、10月に台風上陸)のため、チェーン店は前年比マイナスが続いている。百貨店は10月は天候不順の影響を受けたが、9月はプラスとなっており、回復の兆しが見える。

(2) SPA売上高は、6～8月が天候不順の影響等から前年比を下回っているが、9、10月は前期比プラスになっている。

4. その他関連指標

(1) 自動車国内生産は、昨年9月から本年6月まで前年比プラスが10カ月続いた。4月は駆け込み需要の反動が出ていたが、5、6月は回復基調となっていた。7月以降はマイナスに転じ、10月まで4カ月連続で前年比を下回っている。

(2) 新規住宅着工戸数は、持家は2月から、貸家は7月から前年比マイナスが続いている。分譲住宅は2月から9月まではマイナスであったが、10月にマンション増加によりプラスに転じている。全体では3月からマイナスが続いている。

◆ 日本燃糸工業組合連合会第42回通常総会について

平成26年11月26日（水）、当連合会第42回通常総会が開催され、第41期事業報告、決算報告、第42期事業計画、予算等が承認されました。

◆ 第50回日本燃糸青年協議会全国大会の開催について

来る3月14日（土）、名古屋観光ホテル（愛知県名古屋市）におきまして日本燃糸青年協議会の全国大会（連合会共催、燃糸会館後援）が開催されます。今回は、全体会議（記念式典）を行い、続いてスポーツコメンテーターの山崎 武司 氏（元プロ野球選手）を講師に招き記念講演会を行う予定となっています。

また、今大会は、節目となる第50回大会となりますので、青年会のない産地の皆様にも是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加対象者は、当連合会会員組合の組合員及び賛助会員の方となります。

◆ 当連合会の事務所移転について

昨年12月、当連合会事務所を下記に移転しました。

記

新住所 〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-4 KTお茶の水聖橋ビル2F

TEL 03 (5615) 8974

FAX 03 (5615) 8975